

内容構成が8つから4つに改訂されたことを踏まえて、学習を進めるに当たって留意すべきことは何か。

- 内容構成の変更は、今回の改善の基本方針の一つである「中学校の内容との体系化」の視点を踏まえたものである。具体的には、中学校技術・家庭科〔家庭分野〕の内容の系統性や連続性を重視し、小学校・中学校ともに同様の枠組みをもつ4つの内容となった。学習を進めるに当たっては、それぞれの学習指導要領の解説等を参考に小学校の基礎・基本を整理し、小・中学校5年間を効果的につないで確かな学力をはぐくむよう指導を充実する必要がある。そのためには、小学校と中学校で学習する基礎的・基本的な内容をまとめておくことが大切である。

※ 新学習指導要領における小学校家庭科及び中学校技術・家庭科〔家庭分野〕の内容

小学校	中学校
A 家庭生活と家族	A 家族・家庭と子どもの成長
(1) 自分の成長と家族 ア 成長の自覚，家庭生活と家族の大切さ	(1) 自分の成長と家族 ア 自分の成長と家族や家庭生活とのかかわり
(2) 家庭生活と仕事 ア 家庭の仕事と分担 イ 生活時間の工夫	(2) 家庭と家族生活 ア 家庭や家族の基本的な機能，家庭生活と地域とのかかわり イ これからの自分と家族，家族関係をよりよくする方法
(3) 家族や近隣の人々とかかわり ア 家族との触れ合いや団らん イ 近隣の人々とかかわり	(3) 幼児の生活と家族 ア 幼児の発達と生活の特徴，家族の役割 イ 幼児の観察や遊び道具の製作 幼児の遊びの意義 ウ 幼児との触れ合い，かかわり方の工夫 エ 家族又は幼児の生活についての課題と実践
B 日常の食事と調理の基礎	B 食生活と自立
(1) 食事の役割 ア 食事の役割と日常の食事の大切さ イ 楽しく食事をするための工夫	(1) 中学生の食生活と栄養 ア 食事が果たす役割，健康によい食習慣 イ 栄養素の種類と働き，中学生の栄養の特徴
(2) 栄養を考えた食事 ア 体に必要な栄養素の種類と働き イ 食品の栄養的な特徴と組み合わせ ウ 1食分の献立	(2) 日常食の献立と食品の選び方 ア 食品の栄養的特質，中学生の1日に必要な食品の種類と概要 イ 中学生の1日分の献立 ウ 食品の選択

<p>(3) 調理の基礎</p> <p>ア 調理への関心と調理計画</p> <p>イ 材料の洗い方，切り方，味の付け方，盛り付け，配膳及び後片付け</p> <p>ウ ゆでたり，いためたりする調理</p> <p>エ 米飯及びみそ汁の調理</p> <p>オ 用具や食器の安全で衛生的な取扱い，こんろの安全な取扱い</p>	<p>(3) 日常食の調理と地域の食文化</p> <p>ア 基礎的な日常食の調理，食品や調理用具等の適切な管理</p> <p>イ 地域の食材を生かした調理，地域の食文化</p> <p>ウ 食生活についての課題と実践</p>
<p>C 快適な衣服と住まい</p>	<p>C 衣生活・住生活と自立</p>
<p>(1) 衣服の着用と手入れ</p> <p>ア 衣服の働きと快適な着方の工夫</p> <p>イ 日常着の手入れとボタン付け及び選択</p>	<p>(1) 衣服の選択と手入れ</p> <p>ア 衣服と社会生活とのかかわり目的に応じた着用や個性を生かした着用の工夫</p> <p>イ 衣服の計画的な活用や選択</p> <p>ウ 衣服の材料や状態に応じた日常着の手入れ</p>
<p>(2) 快適な住まい方</p> <p>ア 住まい方への関心，整備・整頓及び清掃の仕方と工夫</p> <p>イ 季節の変化に合わせた生活の大切さ，快適な住まい方の工夫</p>	<p>(2) 住居の機能と住まい方</p> <p>ア 住居の基本的な機能</p> <p>イ 安全な室内環境の整え方，快適な住まい方の工夫</p>
<p>(3) 生活に役立つ物の製作</p> <p>ア 形などの工夫と製作計画</p> <p>イ 手縫いやミシン縫いによる製作・活用</p> <p>ウ 用具の安全な取扱い</p>	<p>(3) 衣生活，住生活などの生活の工夫</p> <p>ア 布を用いた物の製作，生活を豊かにするための工夫</p> <p>イ 衣生活又は住生活についての課題と実践</p>
<p>D 身近な消費生活と環境</p>	<p>D 身近な消費生活と環境</p>
<p>(1) 物や金銭の使い方と買物</p> <p>ア 物や金銭の大切さ，計画的な使い方</p> <p>イ 身近な物の選び方，買い方</p>	<p>(1) 家庭生活と消費</p> <p>ア 消費者の基本的な権利と責任</p> <p>イ 販売方法の特徴，物資・サービスの選択，購入及び活用</p>
<p>(2) 環境に配慮した生活の工夫</p> <p>ア 身近な環境とのかかわり，物の使い方の工夫</p>	<p>(2) 家庭生活と環境</p> <p>ア 環境に配慮した消費生活の工夫と実践</p>